

令和4年度第1回海津市総合教育会議議事録

1 日 時 令和4年4月28日（木）午後3時から午後4時

2 場 所 海津市役所 東館 4階 4－2会議室

3 出席者の氏名

市長	横川 真澄
教育長	服部 公彦
教育長職務代理者	伊藤 亮一
教育委員	森 圭子
教育委員	曾根 理仁
教育委員	大津 由佳

4 調査、説明等のために出席した者の氏名

総務部長	寺村 典久
総務課長	伊藤 聡
企画財政課長	山崎 賢二
健康福祉部長	近藤 康成
こども未来課長	鈴木 良彦
教育委員会事務局長	大橋 隆幸
教育総務課長兼学校給食センター所長兼	
学校統合推進室長	後藤 政樹
学校教育課長兼教育研究所長	後藤 秀樹
社会教育課長兼歴史民俗資料館長兼図書館長	
	徳永 宗哲
スポーツ課長	米山 一雄

書 記：教育総務課係長	山田 佐智子
-------------	--------

5 傍聴者

な し

6 議 題

- (1) 本市における就学前の教育の進め方について
- (2) その他

発言者	発言内容
教育総務課長兼 学校給食センタ ー所長兼学校統 合推進室長	本日は大変お忙しいところ、令和４年度第１回海津市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 この会議は、市長と教育委員会の意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して本市の教育行政に取り組むために開催するものです。よろしくお願いします。 それでは、はじめに、市長よりごあいさつを申し上げます。
横川市長	本日、今年度第1回目となります総合教育会議を開催いたしましたところ、委員の皆様には、ご多忙の中ご出席をいただき誠にありがとうございます。日頃は、市の教育行政のみならず、市政各般にわたりご理解ご協力をいただいておりますことを重ねてお礼を申し上げます。 先ほど、事務局からも説明がありましており、総合教育会議は、市長部局と教育委員会が市の教育の課題、そして目指すべき姿を共有した上で、私と委員の皆様と意見交換をさせていただき、今後の教育行政に生かしていく場所でございます。 今日の課題は、就学前の教育の進め方でございます。本市におきましては、これまで幼児教育の部分を担って参りました、こども課は、平成２２年の４月に組織再編により設けられた教育委員会の組織でございます。これまでは、近隣の市町に先駆けて、保育園と幼稚園を一体化した認定こども園の設置を行ってきたところでございますが、子どもを取り巻く環境、そして家庭を取り巻く環境、核家族化や共働き世帯の増加など、いろいろと環境が変化をしております。それにより、子育て支援のニーズというものが多様化、複雑化しているところであります。こういった部分にしっかりと子育て世代に目を向けて、市政を進めて参りたいと思っております。そういった状況を踏まえ、市の未来を担う子ども達が健やかに育つ環境を整えるとともに子育て支援の充実、そして、経済的負担の軽減を含めた子育て世代への支援の拡充を、私が第１に掲げているところであります。それを私のもとで実施をしたいという思いで、このたび、こども課を教育委員会から市長部局に移管をし、その名称も「こども未来課」という名称に致しました。 今年度からは、こども課で行って参りました業務は、全て、こども未来課へ引き継ぎ、さらに、これまで行っておりました子育て支援、そして子育てに関する業務を一元化し取り組んで参りたいと思っております。

発言者	発言内容
	す。前回の総合教育会議でお話ししたとおり、今後は、子育て支援の拠点にやすらぎ会館をリニューアルし、その業務もこども未来課で担って参ります。令和5年度からは、こども家庭庁が国の方で設置されます。この国の、子ども政策の動向も注視をしながら市の子どもを取り巻く施策の充実も図って参りたいと思っております。 幼児教育の子育て支援の部分が本日の議題となっておりますが、市長部局へ移管しましたが、その所管に関わらず委員の皆様方からは、ぜひともこの総合教育会議の場で、いろいろなご意見をご提言頂戴しながら、市政に反映して参りたいと思っております。こども課が教育委員会で行って参りました業務につきましては、今回の移管後も教育委員会としっかりと連携をして、同様の業務というものはしっかりと行って参りたいと思っております。さらにそれを充実していく必要があると感じておるところでございます。海津市の幼児教育を含めた教育が、特色あるものとなり、そして子育て世代に選ばれるものとなることを祈念しながら皆様方からご意見を頂きたいということで本日わたくしの冒頭のあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。
教育総務課長兼 学校給食センター 所長兼学校統 合推進室長	本日の出席者につきましては、資料の1ページに付けさせて頂いております。この名簿をもって紹介に代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、議題に移らせていただきます。これより先の進行は、市長にいたします。なお、本日の会議は、午後4時に終了させていただきます。予定であります。
横川市長	本市における就学前の教育の進め方について事務局より説明をお願いします。
学校教育課長兼 教育研究所長	<資料により説明>
こども未来課長	<資料により説明>
横川市長	ただ今、資料の説明がありましたが、これについてご意見やご質問等ありましたらお願いします。
伊藤委員	令和3年度まで私どもは、認定こども園に年1回、訪問させていただいて、園や園児の様子などを見学させていただいていろいろご意見を申し上げてきたところですが、今後、認定こども園への訪問はなくなるということでしょうか。

発言者	発言内容
	幼児教育というところで連携を図っていくということですが、私どもも現場を見ないと現状が把握できませんがどうお考えでしょうか。
横川市長	私としては、今まで通り現場を見ていただきたいと考えております。現場を見ていただきご意見をご頂戴いただきたいと思っております。今後について事務局より説明を願います。
健康福祉部長	認定こども園としましては、先ほど市長がお話をさせていただいたように引き続き現場を見ていただいて、いろいろなご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
横川市長	その他ありませんか。
大津委員	令和3年度に、健康課の前に「子育て世代包括支援センター」が設置されましたが、こちらに子育て世代の保護者の活用があるのか、具体的な事例があったら教えていただきたい。
こども未来課長	子育て世代包括支援センターの相談業務ですが、子育て支援センター海津の方で未就学のお子さんの保護者の方から育児相談を受けます。その相談を健康課と連携を図っております。
大津委員	ひまわり（海津総合福祉会館）の中に「みらい」（児童発達支援事業所）がありますが、子育て世代包括支援センターが健康課の前に設置されて保護者の方が直接相談に行かれますか。
こども未来課長	健康課には、助産師がおりますので、母子手帳の交付の段階から継続的に相談に応じております。
大津委員	生まれた時から相談しやすいということで、そこに設置されたのですか。
こども未来課長	はい。そのとおりでございます。
横川市長	その他ありませんか。
森委員	認定こども園の施設管理や危機管理指導については、こども未来課がやっていかれると思いますが、私立の園の危機管理等については、市に情報が入ってくるような場があるのでしょうか。
横川市長	事務局お願いします。
こども未来課長	毎月1回、全園の園長が集まる理事会がありますので、その場を活用させていただいております。

発言者	発言内容
横川市長	その他ありませんか。
曾根委員	私としては、組織改編に伴って簡単に言葉では連携と言っても、具体的にどのように連携をとるのか、例えば、会議をやるのか、定期的にそういう場を設けるのか。スムーズな連携とはどのような連携をとるのか。ただ、組織が別れただけという理解になってしまうし、先ほど伊藤委員さんが質問されたように、こども園の視察もなくなったと私達は理解をしてしまう。具体的な面がまだ見えてこない。もう4月から走り出しているわけですが、そういう面で支障があってはいけないので、市長部局として何かチェックされるのかお伺いしたい。
横川市長	基本的に今まで教育委員会で行ってきた事業は、全部同じようにやるという基本方針はあってもこの組織が変わったことによって、しっかりとした連携が図れるかどうかというところは、非常に疑問なところがあります。これは、一つ一つの事業についてブレイクダウンをして、一つ一つ詰めていくという必要があります。今のご指摘をしっかりと実現できるように担当部署に指示していきますことをこの場でお約束いたします。
曾根委員	月1回、教育委員会を設けておりますので、こども未来課から課題があれば常時、事務局に繋げていただいて、こちらからも何か繋ぐことがありましたら、またお繋ぎするということでどうでしょうか。
横川市長	ぜひお願いします。 何か補足がありましたら事務局よりお願いします。
健康福祉部長	連携も当然ですが、その場に呼んでいただければ結構でございます。事務局を挟まずに直接ご提案いただければと思います。
横川市長	教育長からもございますか。
服部教育長	石津認定こども園の卒園式に行きましたが、非常に子どもや親さんを見るいい機会でした。この会議で学校訪問して欲しいというお話を聞いて嬉しかったです。委員の皆さんの負担は増えますが、子どもの様子を絶対早くから知っていた方が良いですし、継続して見ていくことが重要です。ぜひ教育委員会の訪問をこのメンバーでやらせていただいて、子どもの育ちについてももしっかり認めるところは認め、課題がありましたら、ぜひ、就学前にこういうことは直してほしいといったお話は、していこうと思います。施設管理については、こども未来課においてお願いしたいと思います。

発言者	発言内容
横川市長	その他ありませんか。
大津委員	子どものことももちろんですが、親も子が生まれた頃から親として始まっていくので、切れ目のない子育て支援ということで、わかりやすい支援をお願いしたい。どこに何を聞きに行けばいいのか、子どもを連れてあちこち回らなくてもいいように、丁寧に教えてあげていただきたい。そうすれば、海津市って優しいなと思って頂けるのではないのでしょうか。市長が思われるように、定住していただけるかもしれない。せっかくこちらに移ったメリットがあってもよいのではと思います。
横川市長	今、大津委員よりご指摘がございましたが、今回のこども未来課の移管の目的の一つが子育て支援に関する手続きのワンストップ化です。4月からはワンストップになってますということが、今言えない状況ではありますが、それに可能な限り近づけて参りたいと思っております。 その他ありませんか。
曾根委員	先ほど、こども未来課長より海津市の幼児教育と保育研究会の説明がありましたが、小学校の先生との交流はとても重要だと思います。こども園を見させていただくと、子ども達と親さんの情報をたくさんいただきます。継ぎ目のない対応をしていく為に、研究会を充実させていっていただきたい。こども未来課は、私立の保育園に行政側からの指導支援ということで、関わってもらいたい。
伊藤委員	市長部局、教育委員会と線を引いてあっちこっちと言わず、連携して行えばいいのではないかと。市民を振り回さないように、良い幼児教育ができるように考えていただきたい。
横川市長	市長部局へ、こども課の移管を考えたときに、子育て支援をどうするかということで、先走っていることがありました。幼児教育については、十分検討されていなかったということがありますので、見直して参りたいと思います。それでは、議題の2つ目、その他に移りたいと思います。
森委員	やすらぎ会館の整備について、こども未来課が中心に整備しているとお伺いしました。こども図書館をやすらぎ会館の中に作っていただけるとお聞きしておりましたが子ども図書館であれば、社会教育課の所管になるのではないかと思います。その点はどのようなになっていますか。
横川市長	やすらぎ会館を子育て支援の拠点としていく。その中に児童書籍や子育て支援に関する書籍に特化したゾーンを作りたいと考えております。その位置づけが図書館となるのか、今までの図書館の機能を持たせるの

発言者	発言内容
	かも含めて検討が必要なところですよ。もう少しお時間をいただいておりますし、さして頂きたい。今お話しできるのは、平田図書館にあった児童書籍や子育て支援に特化した書籍をやすらぎ会館に移動し、自由に読んで頂くスペースを作るということは決まっております。
森委員	やすらぎ会館の中には、かなりのスペースがありますが、子育て支援コーナーというか児童館的なスペースを考えてもそれなりの空間があるかと思っております。ぜひ、児童図書に特化したもので一つの特色を作っていただけて子どもが集える場を設けていただきたいと思います。平田図書館がなくなったことで、平田町内で本の貸し出しが出来なくなっているが、そこで予約で貸し出しができるような事が出来るといいなと思っております。ぜひご検討をお願いしたい。
横川市長	森委員がご提案して頂いたことは、我々が考えているところでありますので、発言のとおり進めて参りたいと思っております。
大津委員	私は、絵本と子どもを繋ぐようなNPOの活動をしておりますが、平田図書館の絵本コーナーや児童図書のコーナーは非常に評判が良かったです。図書のコーナーだけにならないように願っております。子ども達にとって本はおもちゃの一つで、本は身近にあってほしいです。遊ぶスペースの周りに本が全部あってもいいと私は思っております。そんなイメージでやっていたたけることを願っております。
森委員	大津委員のご意見に付け加えて、平田図書館の子どもコーナーは、靴を脱いで上がれるスペースがあり寝転がってもいいようになっていました。その周りに本が並べてありました。そういったスペースは、書棚との距離が非常に近くとても良かったです。子どもが自然に本に親しめるような場にしていきたい。
横川市長	ありがとうございます。今後もいろいろな意見を頂戴して、やすらぎ会館のリニューアルに向けて作り上げて参りたいと思っております。今のご意見も反映させていただいて進めて参りたいと思っております。
健康福祉部長	事務局としましても、段を高くして遊べる図書コーナーは、市長より指示を受けております。ご意見は、今後の参考にして参りたいと思っております。
伊藤委員	図書を管理するのは、健康福祉部か教育委員会かどこになるのですか。
健康福祉部長	図書館法に基づく図書館なのか、それ以外なのか検討していきたいと

発言者	発言内容
	思っております。図書館法に基づく図書館であれば、社会教育課が担当しますし、それ以外の図書館であれば、健康福祉部の担当になると思います。どちらにせよ、使って頂く市民の方には、同じように使っていただけるようにして参ります。
曾根委員	海津の図書館は、暮らしやすい海津を目指していく中で、海津市としては文化的サポートや機能についてはどのようにお考えですか。
横川市長	今、ここではっきり申し上げることは難しいですが、海津図書館にテラス席などを設けて Wi-Fi など繋げるような形で市民が集えるような施設を検討しております。
総務部長	今年度、11の重点施策を主要テーマに、ワークショップを開催する予定です。5月の市報に掲載しますが、5月19日、21日に平田のふるさと会館で「切れ目のない子育て支援」と「子育て世代の定住促進」をテーマに行います。ぜひ、ご参加を頂けるとご意見頂戴できるかと思っています。よろしくお願いします。
横川市長	様々な意見を頂戴しまして、誠にありがとうございました。しっかりと記録を取って一つ一つの発言についてちゃんと対応できているか、チェックしながら今後進めて参りたいと思っております。今日、皆さんにご理解頂きたかったのは、これまでやってきた幼児教育の事業というのは、続けてやって参りますということと、皆様方には引き続き、ご意見を頂戴いただきたいということです。では進行をお返しします。
教育総務課長兼 学校給食センター 一所長兼学校統 合推進室長	本日は1時間という限られた時間ではありましたが、ありがとうございました。以上を持ちまして本日の会議を閉じさせていただきます。

閉会 午後4時00分